

ボランティアが大活躍！

携帯用砂入りボトルを作成しています！

南区では年間に約 8,000 本もの砂入りボトルが消費されます。実はそのほとんどが、地域のボランティアの皆さんによって作られています。



滑り止め用の砂を詰めたペットボトルは、砂袋より手軽に、繰り返し利用できるため好評です。



もなみ学園分校高等部の皆さんには、毎年、砂入りボトルを作成していただいています。どうもありがとうございます。

除雪活動に取り組んでいる学校もあります！

札幌市内で特に高齢化が進んでいる南区ですが、地域では学生など除雪ボランティア活動に取り組んでいる若い力が活躍しています。



明清高校では、毎年、男子サッカー部に所属している生徒が、放課後に地域の高齢者宅の除雪を行うボランティア活動をしています。



簾舞中学校では、生徒会が中心となって自主的に冬の除雪活動を推進しています。全校集会を開き、活動への参加の呼びかけを行いました。

ボランティア協力団体

みなみの杜高等支援学校 / もなみ学園分校中学部・高等部 / 定山溪地区母の会など



今年度、みなみの杜高等支援学校が開校しました。学校の授業の一環として砂入りボトルの作成や砂の補充、使用済みボトルの回収などを行っています。

ボランティア協力団体

簾舞中学校 / 澄川中学校 / 川沿少年消防クラブ / 明清高校 / 東海大学 など



12月4日東海大学で除雪ボランティアの出陣式がありました。10年目を迎えた今年は、学生69人が参加し、地域の高齢者宅など31世帯の除雪を行います。



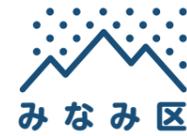
除雪ボランティアへの支援を行っています！

市民が地域で行う除雪ボランティア活動への支援として、活動に使用する除雪用具の無償で貸し出しを行っています。(用具はスコップ、スノーダンプ、そり等) 町内会や企業にも貸し出していますので、お気軽にお問い合わせください。

また、砂まきや砂入りボトルの作成活動に対しては、砂や資材の提供も行っています。

[問い合わせ] 南区土木センター (電話: 011-581-3811)

発行	札幌市南区土木部維持管理課		
お問合せ	区の除雪事業について	▶ 札幌市南区土木部維持管理課 (南区土木センター) 電話: 011-581-3811	
	区の除雪作業について	▶ 北地区除雪センター 電話: 011-583-6851 ▶ 南地区除雪センター 電話: 011-573-9222	※お住まいの区域の除雪センターについては、冬のくらしガイドや、札幌市南区ホームページにてご確認ください。
次回のリーフレット発行予定	▶ 第3号 2/15 (木)	このリーフレットのバックナンバーを札幌市南区ホームページに掲載する予定です。	札幌市南区 除雪関連 <input type="text"/> 検索



冬みち便り

保存版

vol.2

このリーフレットでは、南区のみなさまに3回にわたり、市の除雪の情報や南区の取組をお伝えしていきます。

札幌市南区土木部
平成30年1月18日発行

いまココ!

12月 1月 2月 3月

新雪除雪・路面整正

ぼく、ショベラ!
新雪除雪やザクザク路面の削り取りなどオールマイティに活躍します!

ぼくはロータル!
回転式の赤い羽根で雪をかきこんで上のシュートで飛ばします!

ぼくはグレードン!
おなかについているブレードで、道路上の雪をかき分けたり、凹凸の路面を削って平らにします。

拡幅除雪

ぼくはトランポ!
積み込んだ雪を雪たい積場まで運ぶよ!

運搬排雪

排雪作業 真っ最中!
並行して、新雪除雪と拡幅除雪も随時行っていきますよ!

ツルツル路面に気をつけて！

札幌市内では、ツルツル路面での転倒が原因で、毎年 1,000 人以上が緊急搬送されます。転倒によるケガを防止するためにも、転びにくい歩き方や転んでも安全な服装を心掛けましょう!

ケガの防止のためにも3つのコツを押さえましょう!

転倒によるケガを防ぐためには.....

コツ1 滑りにくい靴を選ぼう

ピンや金具、深い溝のある底やゴム底の靴を選びましょう。また、自分が歩く道の状況に合わせた靴を選びましょう!



冬用の
ゴム底の靴を
持っている
と便利!

コツ2 転びにくい歩き方で歩こう

路面に合わせた歩き方をマスターしましょう。特に横断歩道の白線やロードヒーティングの切れ目は要注意!

- 小さな歩幅で歩く
- 靴の裏全体をつけて歩く
- 急がず、焦らず、余裕を持って歩く



コツ3 転んでも安全な服を選ぼう

転んだときにクッションになる衣服や濡れても大丈夫な防水性のある素材を使った上着、手袋、帽子などで工夫することも大切です。

子どもの服装は、つなぎのスキーウェアと手袋、帽子は必須アイテムです!



排雪とは

排雪には、たくさんの**人と機械**、また**お金**が必要で、
そのうえ**雪たい積場**の確保も不可欠となります。

除雪で積み上げた雪山を、ロータリー車などで削り取り、
ダンプトラックに積んで雪たい積場などへ運搬する作業
のことです。

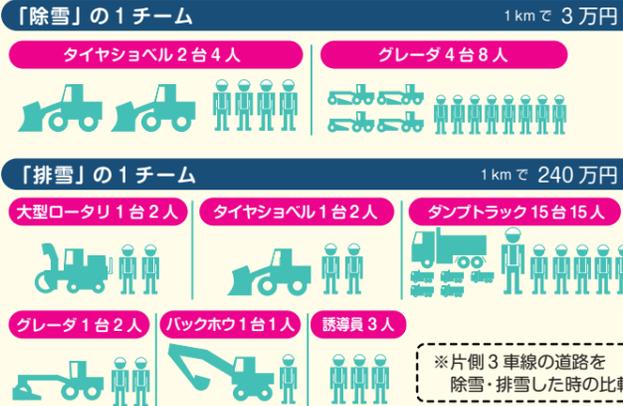
札幌市では、幹線道路の排雪を原則シーズン1回行い
ます。住宅街を通る生活道路に関しては、町内会と協議
の上、申請のあった路線について、除雪パートナーシップ
制度のもと排雪を行います。



1 人と機械

たくさんの人と機械が必要です。

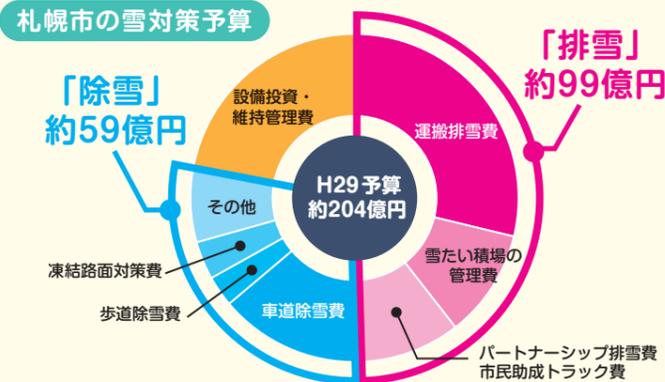
排雪は、作業員の人数や使用する機械が
除雪と比べ、とても多くかかります。
また、1チームあたりの作業スピード
についても、除雪はひと晩に約10km
できるのに対し、排雪は1日に約2kmしか
できません。



2 お金（予算）

雪対策予算の約半分が排雪の費用です。

排雪は、多くの人員や機械が必要なため、
除雪の約80倍もの費用がかかります。
また、平成29年度の札幌市の雪対策予算は
約204億円ですが、そのうち「排雪」に
関する費用は全体の約半分を占めています。



3 雪たい積場

排雪した雪の置き場も限られてきています。

市街地の雪たい積場は年々減少しており、遠隔化が進んで
います。現在、札幌市で確保している雪たい積場は72箇所
ありますが、ピークの平成17年と比べると10箇所減りました。
雪たい積場には広い土地で、かつ大量の雪どけ水の処理が
可能な場所が必要です。そのため、新たな場所を確保するのは
なかなか簡単ではありません。

雪の置き場に
苦労しているんだ。



排雪を取り巻く状況はとても厳しく、これ以上回数を増やすことはむずかしいのです。
排雪量を少しでも抑え、排雪作業をスムーズに進めるため、
皆様のご理解とご協力が必要です！

凍結路面对策とは

凍結防止剤や滑り止め材を道路に散布する作業
をいいます。凍結防止剤は、塩化ナトリウムなど
に錆止めを混ぜたものです。また、滑り止め材は
細かな砕石でできています。

凍結路面对策の実施基準

凍結路面对策は、通常、朝のラッシュ前に実施
します。また、気象状況等から特にツルツル路面の
発生が予想される場合は夕方のラッシュ前にも実施
します。

凍結路面对策の種類

凍結防止剤

幹線道路など、圧雪が薄い路面には
錆止め材入りの凍結防止剤を散布します。
また、ロードヒーティング停止区間などの
重点箇所は一日最大4回の散布を行います。



滑り止め(7号砕石)

●車道

交通量が多く、勾配が急で圧雪の
ある坂道などには、散布車や人力
で滑り止め材を散布します。

●歩道

公共施設や地下鉄駅周辺、
人通りの多い歩道などには、
散布用の機械などで滑り止め材
を散布します。

用途に応じて使い分け！
さまざまなサイズの砂袋があります。



3kg入り砂袋
主に車道用の砂箱に配置され、比較的広い
面積に散布することができます。



1.5kg入り砂袋
歩行者用の砂箱に配置され、散布しやすい
よう切り口が工夫されています。



0.7kg入り携帯用ボトル
区役所などの公共施設に配置され、ペット
ボトルをリサイクルした市民や職員の手作
りです。

砂まきのご協力をお願いします。

人通りの多い交差点や公共施設付近には砂の
入った砂箱を設置しています。(南区内砂箱：
750箇所) 路面がツルツルで危ないときには、
積極的に砂をまいていただきますよう、ご協力
をお願いします。

砂箱の砂がなくなっている場合は、除雪センター
または土木センターまでご連絡ください。



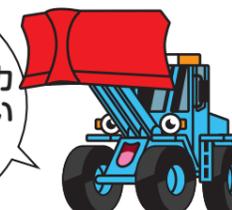
真駒内中学校では、地下鉄真駒内駅や区役所周辺などへの
砂まき活動を実施しています。

ロードヒーティングについて

札幌市では、昭和62年のスパイクタイヤの規制を
きっかけに、ロードヒーティングが整備されました。

しかし、近年スタッドレスタイヤや凍結防止剤の性能が
向上していることや、ロードヒーティングの光熱費、
改修費に多くの費用がかかることから、一部のロード
ヒーティング設置箇
所では運転を停止し、
除排雪と凍結防止剤
の路面管理に移行し
ています。

ご理解、ご協力
よろしくお願いいたします。



ロードヒーティングは
万全ではありません！

ロードヒーティングは、以下のような気象条件が続いて
いる場合、効果が表れないことがあります。冬道の運転は
ロードヒーティングのある場所でも油断せず、ゆとりを
持った安全運転をお願いします。

- 風速 毎秒5m以上のとき
- 降雪量 毎時3cm以上のとき
- 気温 -7℃以下のとき

